

めざせ甲子園 めざせ県一日本一

先般、第100回全国高等学校野球選手権記念島根大会の抽選会が行われ、対戦相手が決まりました。7月15日(日)に松江市営野球場で開幕するこの大会は、記念大会ということもあって、立正大学浜南高校マーチングバンド部カラーガード隊による演奏、出雲北陵高校吹奏楽部によるマーチング、高校生による国歌独唱、川津キッズチアリーディングクラブ・スパークルズによるダンスパフォーマンスなど華やかな演出により行われるようです。因みに選手の先導は、本校教員である奈良井洗紀が行います。本校は大会3日目の7月17日(火)、第2試合(11:30開始予定)で大東高校と対戦します。皆様のご声援をお願いします。めざせ甲子園!

全国に〇〇甲子園と名がつく高校生の全国大会はざっと調べただけでも80以上あるようで、〇〇甲子園と呼ばれるこれらの大会は、高校生がそれぞれの分野で日本一を目指す大会の代名詞となっているようです。本県でも一昨年、県教育委員会が主催し『食の縁結び甲子園全国大会』を行っており、本年度第3回を迎えます。この“食”に関する甲子園も全国には様々なものがあるようです。『食の甲子園 in やまがた全国大会』、『スイーツ甲子園』、『フードデザイン甲子園』、『高校生カレー甲子園』、『ご当地! うまいもん甲子園』…などが全国各地で行われています。隣の鳥取県では、『手話パフォーマンス甲子園』が行われていることは、多くの方がご存じのことだと思います。おもしろいところでは、『商い甲子園』、『笑顔甲子園』、『検察官甲子園』、『手帳甲子園』などと、どのような大会なのか興味がわくような名前もたくさんあります。

昨日、総合学科3年生の4人が校長室に和菓子を持って来てくれました。全国和菓子甲子園に応募する作品(和菓子)を紹介しにきてくれたのですが、それは出雲地方の特産品のそばをイメージした和菓子です。割子風なのでしょうが、そば、ネギ・刻みノリなどの薬味、たまご…、それぞれが細部にまでこだわって、本物のそばの盛り付けと見分けがつかないほどよくできていると感心しました。

和菓子甲子園に応募することの報告と、作成した和菓子を実に見せに来てくれただけでした。どんな味かは分かりませんでした。めざせ甲子園!



身近な甲子園として、全校生徒で行っているものに『鍵かけ甲子園』があります。生徒の防犯意識を高めることや、交通自治委員会を中心に生徒の自治能力の向上を目的とした取り組みで、毎年実施しています。この『鍵かけ甲子園』は島根県警察が実施しており、昨年度は9月から11月にかけて『鍵かけ甲子園2017』が行われ、学校の駐輪場での施錠状況や鍵かけ意識向上に向けた啓発活動等が審査されています。

本年度、本校はこの開催に先駆けて、4月初より交通自治委員会の生徒が施錠状況をチェックしたり、結果をクラスに持ち帰って注意を促したり、ポスターを作成して意識の向上を図ったりと様々な活動を行ってきています。5月の状況をみると、3年生が5件の鍵のかけ忘れがあり、2年生が7件、なんと1年生は26件という結果のようでした。生物生産科3年生は0件と全員の意識が高いようです。いずれ、施錠率100%となるよう祈っています。

いや、そうなるでしょう…めざせ鍵かけ甲子園! 最優秀賞

